

コートと担当担当クラブ	
5月: 6月分のコート	青葉 A
6月: 7月分のコート	美住 C
7月: 8月分のコート	恩多 C

発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市萩山町 5-6-26-301
 Tel. 0423-95-9849
 編集責任者 川村英明



創立12周年を迎えて



協議会 名誉会長 太田 芳郎

人々にそれぞれ異なった顔があるように、クラブにもそれぞれの顔がある。私と関係のあるクラブの例をあげてみても、東京クラブはエリートの顔。エリートとはフランス語で「精華・選良」等と優れた意味であるが、一般にはお高くとまっまっているように誤用されている。由緒ある国際クラブであるから、真のエリートも多いが、鼻持ちならぬエリートもいる。

私が名誉会長の北軽井沢クラブの会員は、町の人ばかりで、何となく牧歌的な風情がある。納会では、自分の店の品物を持ち寄り、秋の一日をテニスと会で楽しく過ごす。

名誉副会長だった那須のグリーンウッドテニスクラブが、コマーシャルの顔をしているのは、設立目的からして当然のことである。

では、我々のクラブはどんな顔か？ 私には「テニス・スクール」の顔に見える。どこのクラブでも同じような会則をもち、立派な目的を掲げているが、そんな目的に共鳴して入会する者は無く、安上がりでテニスを教えてもらえるから入会する。この意味では一応うまくできている。しかし、ゲームを上手にやりたいのはゲームを楽しむため、初心の者でも、初めずゲームをするに喜び。

コーチを招いたり、合宿をしたりする技術の講習会は度々あるが、その内容は皆「スクール」の延長でゲームではない。列を作って順番を待ち、1、2球打ってはグルグル回るだけでは芸がない。ゲームを通して心の交流を深め、人生を豊かにすることが大切である。ゲームが少なく、教えることが主体だと一匹狼が多くなり、教えることは上手でも、対外試合では誠に拙い。これは、会員数に相当したコートが無いからだ。

最後に、技術講習会は度々行われるが、幹部研修会が無い。幹部の合同練習会を持ち、クラブの運営について反省、話し合うことをしないと、情性に陥り、マンネリとなる。飾り者の名誉会長の私に意見は無いのだが、気のつくままに。

協議会 会長 柳 利夫

さる3月4日に東村山市民スポーツセンター大会議室で開催された「第12回定期総会」の冒頭でも申し上げましたが、私たちの市民テニスクラブが、これまでに作りあげてきた連盟主管の公式大会日以外は、毎週末まった時間帯に確実に練習ができるということは、過去11年間におよぶ年月の中で、会員の皆さんが、平日頃の活動のうで積極的に参加し、努力してこられたからだと思います。改めて感謝申し上げます。

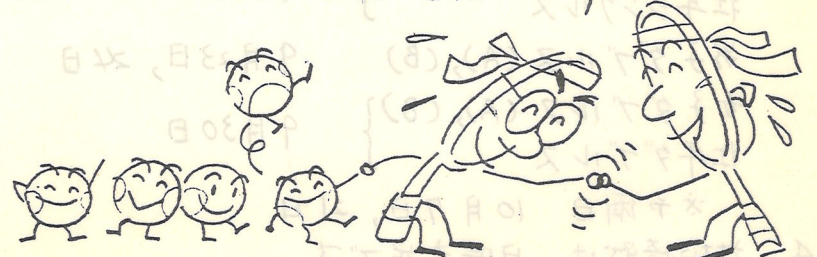
新しく今年入会された70名の皆さんには、既存する市民テニスクラブの状況が「当然のことである」とは思っていないだきたくないと思います。

そのためにも、私たちの記念誌『東村山市民テニスクラブ・10年のあゆみ』を、ぜひ読んでいただきたいと思っています。

どの領域でもそうでしょうが、とくに私たちの市民テニスクラブは、少なくとも運営面での“そとれあい”が続いたのでは成り立ちません。お互いに普段からコートでも“はよりがい”のある仲間にならなくてはならないと思っています。

あしかけ12年前の1973年5月3日に、市民テニスクラブの一つ「東住宅テニスクラブ」が創立されてから、1974年11月1日に「恩多クラブ」、1975年12月1日に「本町クラブ」、1977年9月23日に「青葉クラブ」が、1979年3月10日には「美住クラブ」が創立され、現在総勢348名の会員を擁する協議会になってきました。

私たちが、この東村山でテニスを通して知り合った機縁を大事に、テニスの技術向上はもちろんのことですが、人づくり、街づくりへと、一層に楽しみながら巧みき合いしていかれますよう、共々がんばっていきたいと思います。



私とテニス



美位クラブ 小沢道子

毎日、家の雑用から開放される10時頃になると何かをしなさい、何かをしなくてはいけませんとやらされるように始めたのが私のテニスです。初めのうちは10分練習して30分休み、休み休みのくり返してました。それでは持久力のない私は、週末になると寝こむこととたびたび、打ったボールといえば、揚げ手のない風のようにふわふわと方向もボール本意で、ボールをラケットに当ててるのか、ボールがラケットに当たるのか偶然のテニスです。ラケットをどうしても早く引くことができません、コートから帰って台所に立つたびに、一人言をいっていった頃もありました。

テニスも今年で3年目になりますが、相変わらず一人言は通りません。しかし、私もずいぶん神経が太くなりました。トンネルやサーブミスをして、顔が笑って心で泣いて、ボーカーフェイスが板についてきました。主婦という名の守楽椅子に腰をすえ、10年、テニスの少々の失敗にも、実力とは裏腹に強くなりました。

昨年は秋の大会に参加させてもらったのですが、またたきすぎる間もなく、気がついた時はゲーム終了、何にも考えられず、課題が目の前にうっ積してしまいました。ストローク、サーブ、ボレー、その他etc、まどまどです。辛いけれど、ふわふわボールの私でも、真剣に相手をしてくれる友人に恵まれましたので、これからは基礎を第一に、自分のテニスを細く長く、汗を流した後の充実感を忘れずに、続けようと思っております。

(事務局より)

昭和59年度 硬庭連 — 行事計画

1. 第2回春季市民大会

- 男子ダブルス(A), (B) 4月15日, 22日
- 混合ダブルス 4月30日
- 女子ダブルス(A), (B) } 5月6日
- 壮年ダブルス }
- *予備日 5月13日, 20日

2. 第8回市内団体戦

- 男子の部 5月27日
- 女子の部 6月3日
- *予備日 6月10日

3. 第2回秋季市民大会

- 男子シングルス(A), (B) 9月9日, 15日
- 女子シングルス(A), (B) } 9月16日
- 壮年シングルス }
- 男子ダブルス(A), (B) 9月23日, 24日
- 女子ダブルス(A), (B) } 9月30日
- 壮年ダブルス }
- *予備日 10月7日, 21日

4. 対柏崎戦は、日時未定です。

第1回 運営委員会 報告!!

4月1日

去序10名

《審議事項》 1. 各専門部報告 2. 太田名誉会長結婚60年記念パーティー 3. 本年度合宿 4. トレーナー、マーフの活用、その他
以下、要点的にのみ伝えます。

1. 各専門部報告

事務局: ①4月・5月のコートとりは、従来のくりのべ分で処理します。②並いうちにコートとりサーブの会議を開きます。(後日、連絡します。) ③59年度の会員名簿を4月下旬にコートで配布します。

技術部: ①3月18日に第1回研修会・技術部会をもち(15名)、4月・5月の初心者以外の練習内容を検討。ボレー、スマッシュ、サーブとりターンの3つを中心にして、目標・練習方法の大綱を求めました。

②年6回の技術部研修会・部会を確認。

広報部: ①3月18日第1回広報部会(8名)。「ガット」の発行方法、分担、編集内容等を協議しました。分担は、5月号美位、6月号恩多、7月号青葉、8月号本町、9月号東位の各クラブローテーションです。記事や情報に分担の広報部員にご連絡ください。

②第2回広報部会は6月17日です。

財政部: 会計実務担当者(松本さん)の繁雑さや負担を考慮して、お金の受け渡しはできるだけ一括して処理できるように、行事や仕事ごとに主管をはっきりさせることにしました。

2. 名誉会長・太田先生の結婚60周年に因んで市民テとして、ご夫妻の長寿と健康、ご活躍を祝して、記念パーティーを企画することにしました。柳会長、事務局1名、および各クラブ1名以上で実行委員会を作ります。

3. 合宿(ミニ合宿、夏季合宿)について事務局および、各クラブ1名推せんの実行委員会で、企画、推進することにしました。

4. コート使用について : 次のように確認
早期練習(4月8日~10月末)

	使用コート	土曜	日曜
偶数月	(2面) D・E	6~9時	6~8時
奇数月	(3面) A・B・C	6~9時	6~8時

係は横山、米次の両氏。コート確保は事務局とする。

タイター 木曜日 / 7~9時 / 2~3面

係は桜井氏。コート確保はコートとり当番。

ジュニア 市民大会試合期間中のみ恩多コート 7~8時

5. 第2回運営委員会は5月13日(できない時は20日)